



VeriTrans 4G

VeriTrans4G 開発ガイド別冊

楽天ペイ(オンライン決済)V2 ご利用ガイド

Ver. 1.1.0 (2023年11月～)

目次

第1章	本ガイドの内容	3
1-1	本ガイドの内容	3
1-2	著作権、および問い合わせ先	3
1-3	改訂履歴	3
第2章	概要	5
2-1	楽天ペイ(オンライン決済)V2 サービスの概要	5
2.1.1	都度決済について	5
2.1.2	随時決済について	6
第3章	MDK の処理概要	7
3-1	機能一覧(決済要求コマンド)	7
3-2	決済処理シーケンス	9
第4章	結果通知受信処理	12
4-1	結果通知受信処理の対象	12
第5章	インターフェイス詳細	13
5-1	楽天ペイ(オンライン決済)V2	13
5.1.1	申込	13
5.1.2	消費者ブラウザから店舗側の完了画面へリダイレクトする時のクエリパラメータ	15
5.1.3	再与信	16
5.1.4	与信変更	18
5.1.5	売上	19
5.1.6	取消	20
5-2	共通	22
5.2.1	検索	22
5-3	結果通知電文	27
5.3.1	結果通知電文の概要	27
5.3.2	結果通知のタイミング	27
5.3.3	結果通知項目	28
第6章	その他 補足事項	30
6-1	楽天ペイ(オンライン決済)V2 のレギュレーションについて	30
6-2	チャージバックに関する注意事項	30
6-3	Authorize 以降のコマンドに関する注意事項	30
6.3.1	要求可能期間	30
6.3.2	物品販売における売上要求タイミングに関する注意事項	31
6.3.3	与信変更利用の注意事項	31
6-4	保留等の取引の確認	31

6-5 楽天ポイントを利用した決済に関する注意点	31
6-6 デビットカード利用について	32
6-7 楽天から消費者に送信されるメール	32
6-8 検索(Search)に関する補足(詳細コマンドタイプ/詳細オーダー決済状態/承諾状態)	33
第7章 導入・テストに関する補足	34
7-1 API Key の取得方法	34
7-2 決済申込時のエラーをシミュレートする	35
7.2.1 都度決済	35
7.2.2 随時決済	36
7-3 コマンドのエラーをシミュレートする	37
7-4 WebView 等を利用したスマートフォンアプリへの実装に関する注意事項	38

第1章 本ガイドの内容

1-1 本ガイドの内容

本ガイドは、株式会社 DG フィナンシャルテクノロジーが提供する VeriTrans4G の「楽天ペイ(オンライン決済)V2」をインターネット店舗等でご利用いただくため、専用ソフトウェア MDK(Merchant Development Kit)を導入する開発者向けのガイドです。

1-2 著作権、および問い合わせ先

[著作権]

本ドキュメントの著作権は株式会社 DG フィナンシャルテクノロジーが保有しています。

Copyright © 2023 DG Financial Technology, Inc., a Digital Garage company. All rights reserved.

[お問い合わせ先]

株式会社 DG フィナンシャルテクノロジー ペリトランス テクニカルサポート

電子メール: tech-support@dgft.jp

1-3 改訂履歴

2021/12 :Ver. 1.0.0 版リリース

2022/12 :Ver. 1.0.1 版リリース
「6.3.3 与信変更時の注意事項」を追加

2023/03 :Ver. 1.0.2 版リリース
「3-2 決済処理シーケンス」の No.4 の説明を一部削除
「5.3.2 楽天ペイ(オンライン決済)V2 の結果通知電文」の通知タイミング、注意事項の内容を修正

2023/11 :Ver. 1.1.0 版リリース

- 随時決済対応を追記
- 全体的な形式を修正
 - 見出しの分割・リネーム
 - 図表名変更
 - 文言修正
- 「3-1 機能一覧(決済要求コマンド)」
 - 「各コマンドの実施可能タイミング」の図を追加
- 「3-2 決済処理シーケンス」
 - 「図 3-2 1」を更新
 - 「4 申込結果通知(PUSH)」の「処理説明」を修正
- 「5-1 楽天ペイ(オンライン決済)V2」
 - amount の桁数を修正
 - 8 桁→7 桁
- 「5.1.1 申込」
 - itemName の随時の桁数を修正し、「説明」に追記。また、「任意(△)」から「必須(○)」に修正
 - 300 文字以内→200 文字以内
 - *Url(successUrl、errorUrl、pushUrl)のサイズを変更
 - 256 桁以内→1024 桁以内
- 「5.1.2 消費者ブラウザから店舗側の完了画面へリダイレクトする時のクエリパラメータ」
 - customerId を追加
- 「5.2.1 検索」
 - 要求電文
 - 以下の項目を追加
 - consentStatus
 - originalOrderId

以下の「複数指定」を不可に変更

- ・ accountingType

応答電文に以下の項目を追加

- ・ accountingType
- ・ customerId

「5.3.2 楽天ペイ(オンライン決済)V2 の結果通知電文」を「5.3.2 結果通知のタイミング」と「5.3.3 結果通知項目」に分割

「5.3.2 結果通知のタイミング」

- ・ 表の「注意事項」、「通知タイミング」の文言を修正

「5.3.3 結果通知項目」

- ・ 文言を修正

旧)以下は、決済申込完了通知(Authorize)の場合に連携される項目です。

新)以下は、都度決済利用時の決済申込完了通知(Authorize)の場合に連携される項目です。

- ・ customerId を追加

「6-4 中断等の取引の確認」

- ・ 「中断」を「保留」に変更
- ・ 『表 6-4 対象取引』の内容を修正

「6-8 検索(Search)に関する補足(詳細コマンドタイプ/詳細オーダー決済状態/承諾状態)」

- ・ 「承諾状態」の表を追加

「7-2 決済申込時のエラーをシミュレートする」

- ・ 既存を「7.2.1 都度決済」として、新規で「7.2.2 随時決済」を追加
FED1(中断)を FED1(保留)に変更

「7-3 コマンドのエラーをシミュレートする」

- ・ 表に「ReAuthorize(随時)」を追加し、また、Authorize で随時決済かつ「承諾のみ」の記述を追加
FED1(中断)を FED1(保留)に変更

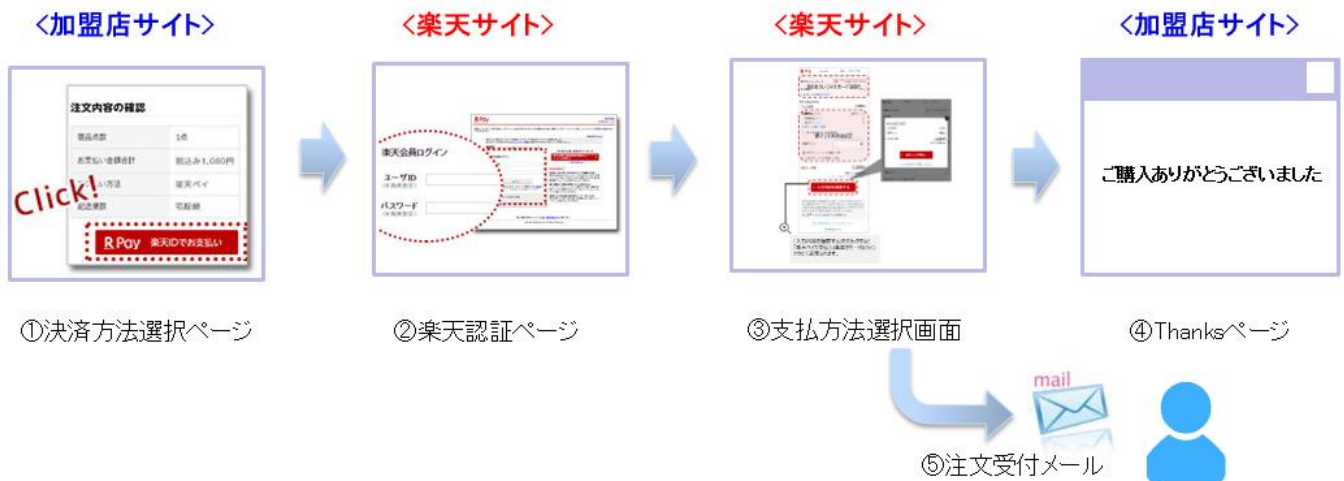
第2章 概要

2-1 楽天ペイ(オンライン決済)V2 サービスの概要

楽天ペイ(オンライン決済)V2 は、楽天会員登録をした利用者が、加盟店様のサイトで購入された商品の代金を、楽天 ID を利用して決済できるサービスです。

- 楽天 ID とパスワードのみの簡単な支払い方法です。
- 利用者が楽天 ID に登録したクレジットカードで決済されます。
 - 決済の可否については、利用者のクレジットカードの与信状況によります。
- 楽天ポイントを利用した支払いが可能です。楽天以外の加盟店様サイトでのご利用でも楽天ポイントを貯めることができます。
 - 楽天ポイントが貯まるのは、楽天カード・楽天ポイント・楽天キャッシュでのお支払いに限ります。
- PC/スマートフォンでの決済が可能です。
- 商材はデジタルコンテンツ/物販に対応しています。
- サービスの導入には、楽天グループ株式会社との直接契約が必要です。
 - 弊社の収納代行サービス(包括加盟店契約)としてご提供はできません。
 - 随時決済をご利用の場合は楽天グループ株式会社へ申請が必要です。

決済の画面遷移のイメージを以下に示します。



2.1.1 都度決済について

【都度決済機能】

消費者の購入した商品などについて、1 回だけ決済を行います。

都度決済機能には以下の特徴があります。

- ① 都度決済の申込は、「課金種別」を未指定、あるいは都度決済を指定して行います。
- ② 都度決済の申込は、消費者の端末から行います。
- ③ 与信取消、売上、売上後の返金は MDK または管理画面 (MAP) から可能です。

2.1.2 随時決済について

【随時決済機能】

随時決済は定期購入商品/サービスの提供にのみご利用いただけます。

店舗様と利用者の継続的な利用の承諾に基づき、商品などの提供状況に応じて加盟店の処理要求単位に課金することができます。

① 随時決済の申込(利用承諾)は、「課金種別」に随時決済を指定し、都度決済と同様のフローで行います。

※申込フローでは利用承諾のみを行うため金額指定はできません。

② 随時決済の申込は、消費者の端末から行います。

③ 課金する場合には、①の取引 ID を元取引 ID に指定し、新しい取引 ID で再与信することにより金額を確保します。

※withCapture を指定することで同時に売上処理も可能です。

④ ③の取引 ID に対して、与信変更、取消、売上を実施します。

再与信した取引の取消、売上は MDK または管理画面(MAP)から可能です。

⑤ ③と④を何度でも実施できますが、一定期間(1年)再与信を行わなかった場合、再度申込(利用承諾)から実施していただきます。

第3章 MDK の処理概要

3-1 機能一覧(決済要求コマンド)

使用可能な決済要求コマンドを下記表に示します。

また、他随時決済に実装されている「解約」コマンドについては、将来的には実装される可能性があります。現在楽天側に機能が用意されていないため実装されておりません。

決済要求種類 /コマンド	概要	都度 決済	随時 決済
申込 (与信) /Authorize	決済の申し込み(オーソリ)を要求します。	○	-
申込 (与信+売上) /Authorize	決済の申し込み(オーソリ)と売上を同時に要求します。	○(※2)	-
申込 (承諾) /Authorize	利用承諾を要求します。 要求パラメータの accountingType を 1 に設定し、随時決済の申込を行います。	-	○
再与信 (与信) /ReAuthorize	随時決済の利用承諾を取得した取引を元取引として、 再与信(オーソリ)を要求します。	-	○
再与信 (与信+売上) /ReAuthorize	随時決済の利用承諾を取得した取引を元取引として、 再与信(オーソリ)と売上を同時に要求します。	-	○(※2)
与信変更 /UpdateAuthorize	売上前または与信取消(キャンセル)前の取引に対して与信の変更(与信期限 延長、金額変更)を要求します。(※1)	○	○
売上 /Capture	申込済み取引の売上確定を要求します。(※1) オーソリ時の金額を超えない範囲で、売上金額を指定できます(部分売上)。	○	○
取消 /Cancel	決済を取消(キャンセル)します。(※1) 売上前の取消については、全額取消となります。 売上後の取消については、売上金額を超えない範囲で、取消金額を指定できま す(部分取消)。	○	○

表 3-1-1 使用可能なコマンド一覧

※1 ご利用の際は、必ず「6-3 Authorize 以降のコマンドに関する注意事項」をご参照ください。

※2 物品販売の場合は、商品を発送する前に売上を行うことは禁止されていますので、商品の発送後に売上を行うか、多少の前後は問題ございませんので、できる限り消費者への商品発送と同じタイミングで売上を行うようにしてください。楽天ペイ(オンライン決済)V2 のレギュレーション事項となりますので、詳細は楽天グループ株式会社にお問い合わせください。

以下で各決済のコマンドの実施可能タイミングを図示します。

【都度決済】

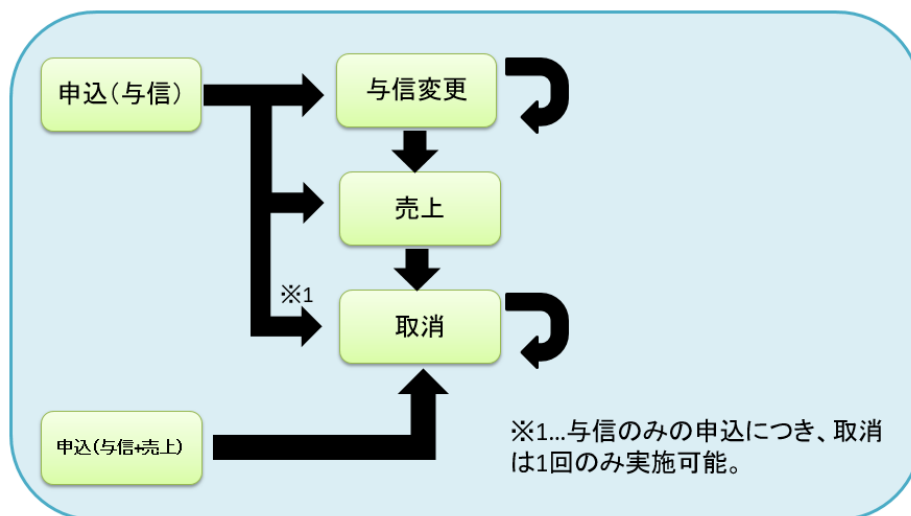


図 3-1-2 都度決済の各コマンドの実施可能タイミング

【随時決済】

承諾状態が継続する限り、申込取引に対して再与信を繰り返し実施可能です。

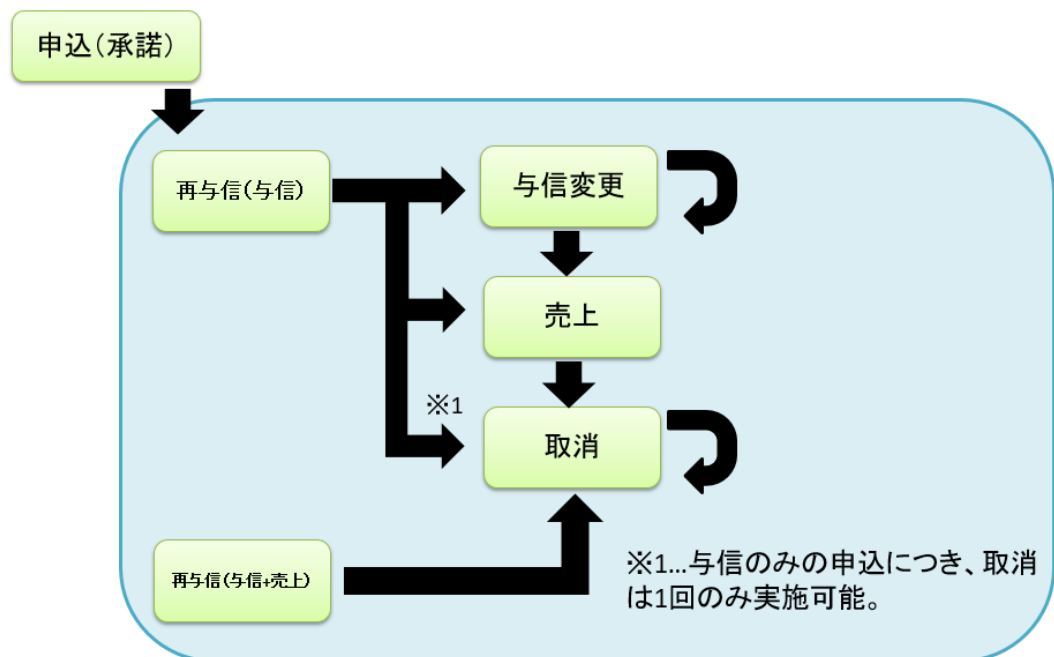


図 3-1-3 随時決済の各コマンドの実施可能タイミング

3-2 決済処理シーケンス

【楽天ペイ(オンライン決済)V2: 決済申込時の処理】

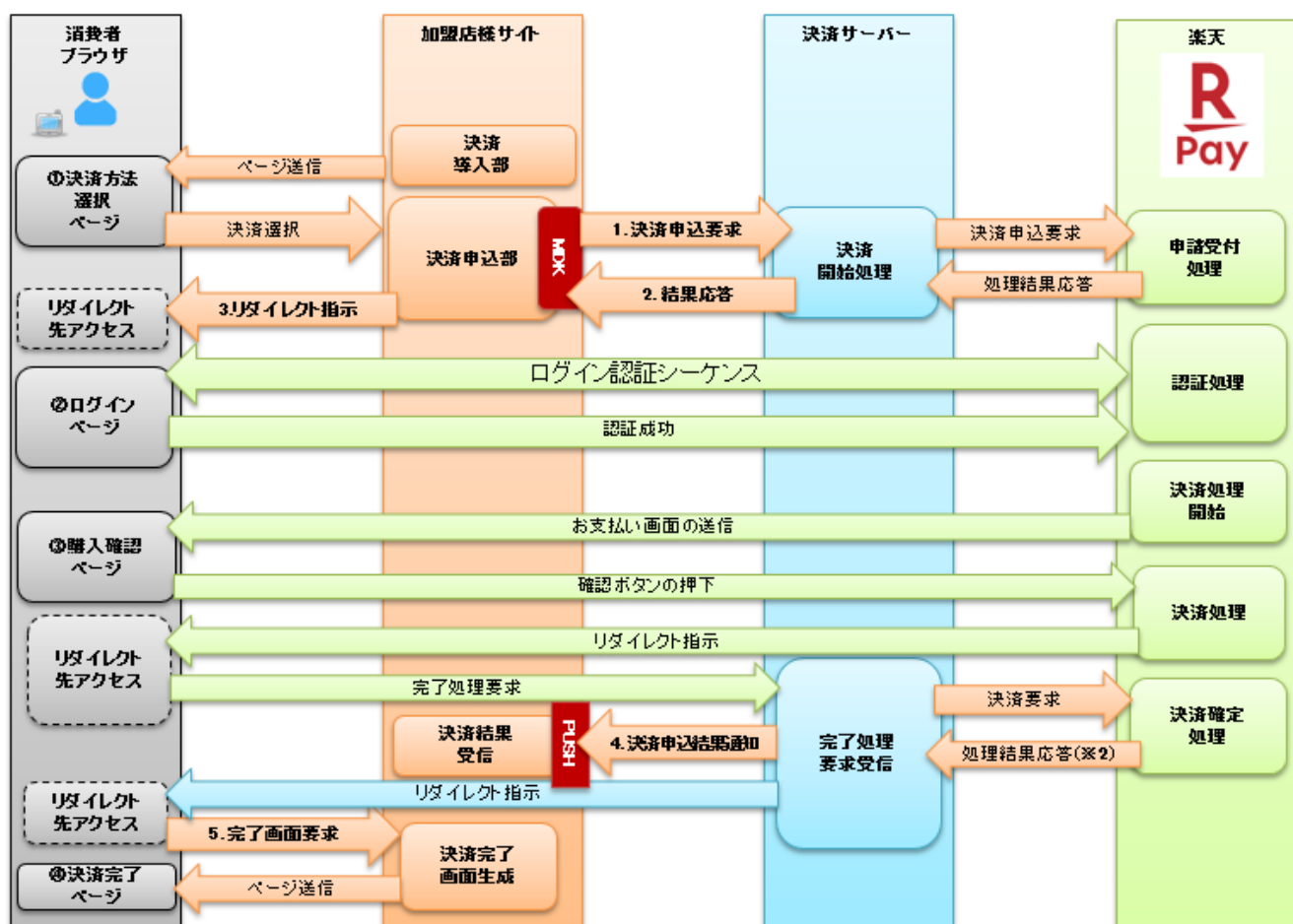


図 3-2-1 MDK 利用時システム処理概要図 (楽天ペイ (オンライン決済) V2 申込)

No.	基本機能	処理説明
1	決済申込要求	EC サイト上の決済導入部に渡された決済申込情報を電文化し、決済サーバーに送信します。
2	結果応答の受信	決済サーバーから返戻された結果を受信します。結果が決済可能の場合、「3. リダイレクト指示」を実施します。消費者ブラウザに返す情報 ^(※1) は決済サーバーより返戻された結果に含まれます。
3	リダイレクト指示	決済サーバーにより返戻された情報を用いて、消費者ブラウザに楽天ペイ(オンライン決済)V2 画面へのリダイレクト指示を送信します。
4	決済申込結果通知(PUSH)	リクエスト時に指定した PUSH 通知先 URL(未指定の場合は、MAP (Merchant Administration Portal)により設定した値)に、決済サーバーよりPOST で通知されますので、決済結果を受け取り、注文データ等に反映します。
5	完了画面要求	消費者ブラウザから結果を受信し、完了画面を送信します。 消費者側の状況により通信断や誤ってブラウザを閉じる、といったケースではこのシーケンスは発生しませんが、4.申込結果通知(PUSH)を受信していれば、決済結果を取りこぼすことは

		ありません。
--	--	--------

※1 Form を Submit(POST)する HTML コンテンツが返戻されます。HTML コンテンツには、Form を自動 Submit する JavaScript が含まれていますので、そのまま消費者に送信すれば(Javascript を利用可能な端末では)自動で画面遷移します。

リダイレクト先の URL のみの返戻もあるので、そちらを使用して独自に遷移処理を作成いただいてもかまいません。

※2 処理結果応答失敗時に、消費者が支払情報を変更することで決済が成功する可能性がある場合、再度楽天の支払いページへのリダイレクトを指示し、消費者の申込を促します。

【楽天ペイ(オンライン決済)V2: 再与信要求時の処理】

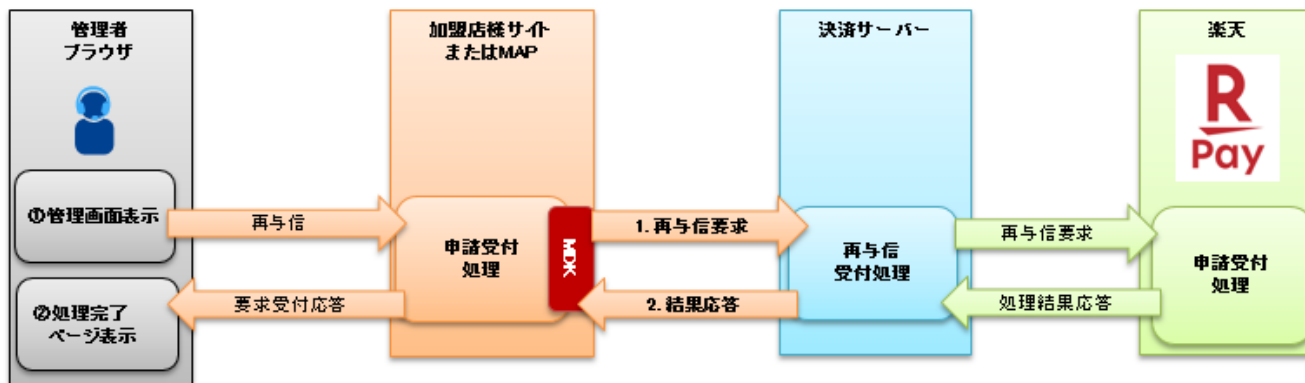


図 3-2-2 MDK 利用時システム処理概要図 (楽天ペイ (オンライン決済) V2 再与信要求)

No.	基本機能	処理説明
1	再与信要求	再与信の対象となる取引情報を電文化し、決済サーバーに送信します。
2	結果応答	決済サーバーより与信変更の結果応答を受信し、結果情報を取得します。

【楽天ペイ(オンライン決済)V2: 与信変更要求時の処理】

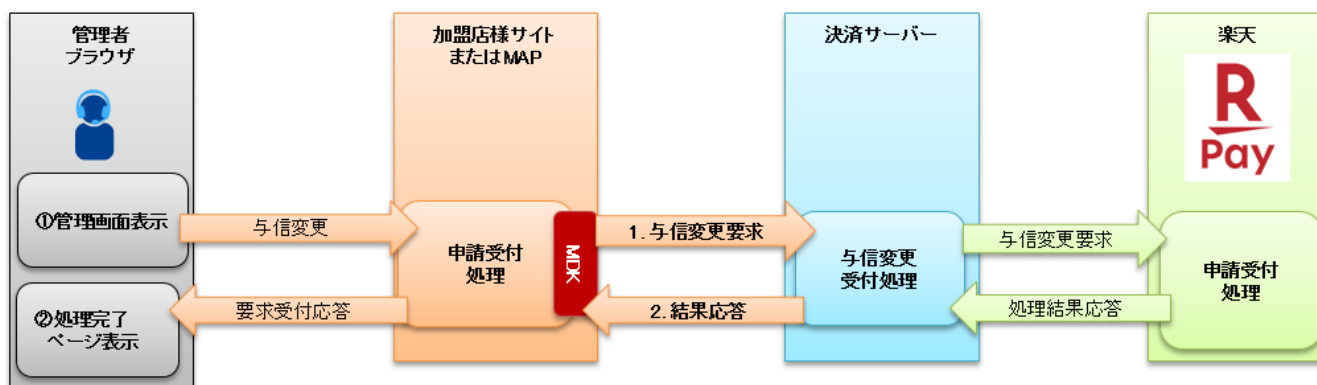


図 3-2-3 MDK 利用時システム処理概要図 (楽天ペイ (オンライン決済) V2 与信変更要求)

No.	基本機能	処理説明
1	与信変更要求	与信変更の対象となる取引情報を電文化し、決済サーバーに送信します。
2	結果応答	決済サーバーより与信変更の結果応答を受信し、結果情報を取得します。

【楽天ペイ(オンライン決済)V2: 売上要求時の処理】

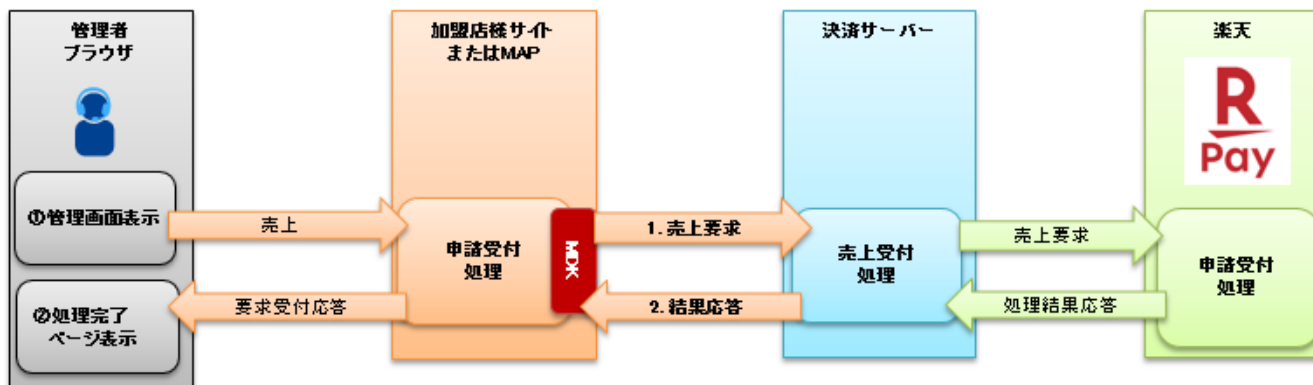


図 3-2-4 MDK 利用時システム処理概要図 (楽天ペイ (オンライン決済) V2 売上要求)

No.	基本機能	処理説明
1	売上要求	売上の対象となる取引情報を電文化し、決済サーバーに送信します。
2	結果応答	決済サーバーより売上の結果応答を受信し、結果情報を取得します。

【楽天ペイ(オンライン決済)V2: 取消要求時の処理】

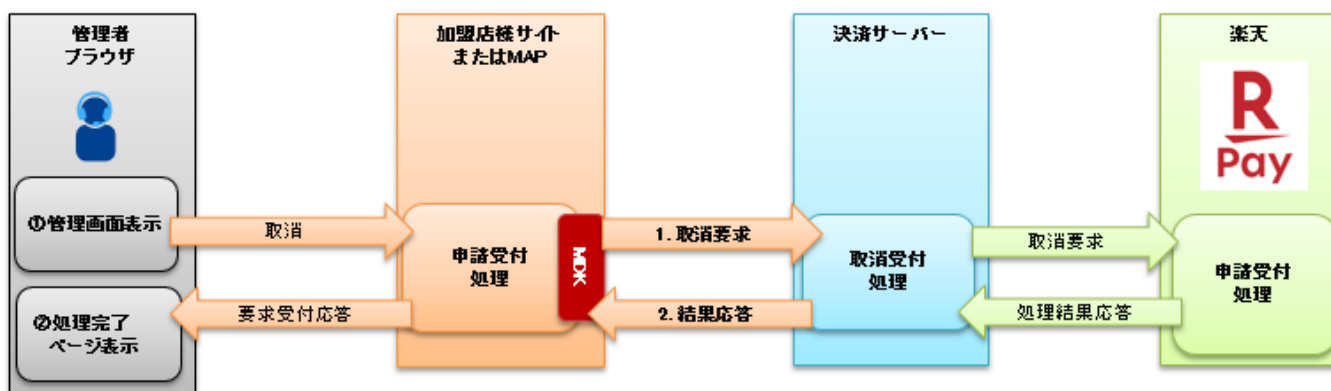


図 3-2-5 MDK 利用時システム処理概要図 (楽天ペイ (オンライン決済) V2 取消要求)

No.	基本機能	処理説明
1	取消要求	取消の対象となる取引情報を電文化し、決済サーバーに送信します。
2	結果応答	決済サーバーより取消の結果応答を受信し、結果情報を取得します。

第4章 結果通知受信処理

4-1 結果通知受信処理の対象

楽天ペイ(オンライン決済)V2 の結果通知受信処理の対象は以下の機能です。

決済サービス名		決済申込	再与信	与信変更	売上	取消
楽天ペイ (オンライン決済)V2	都度	○	×	-	△(※1)	△(※1)
	随時	○	-	-	-	-

表 2 通知対象一覧

※1 売上・取消時の PUSH 有無については、MAP 画面で変更可能です。(デフォルトは PUSH されない)

通信電文仕様(共通部)および店舗受信後応答仕様は、『VeriTrans4G 開発ガイド(MDK モジュール方式)』をご参照ください。

楽天ペイ固有の通知電文インターフェイスにつきましては、「5.3.3 結果通知項目」をご参照ください。

第5章 インターフェイス詳細

ここでは楽天ペイ(オンライン決済)V2 サービスで利用する MDK インターフェイス項目を説明します。

■「設定」欄の内容は以下の通りです。

要求電文 … 必須項目:○ 任意項目:△ 設定不可:× その他条件付:※ (条件は説明欄、または欄外に記入)

応答電文 … 必ず返戻:○ 処理成功時のみ返戻:△ 返戻なし:× その他条件付:※

■orderId(取引 ID)について

店舗で任意に採番してください。申込処理毎に付ける必要があります。他の取引 ID と重複しないよう採番してください。他決済サービスとも重複できません。

また、テスト取引で使用した取引 ID を、本番取引で再度使用することはできません。

取引 ID には、半角英数字以外に“-”(ハイフン)、“_”(アンダースコア)も使用可能です。

■応答電文について

応答電文には、本書に記載されていないフィールド(パラメータ)も存在しますが、通常は、記載されているフィールド以外は加盟店様の方で意識する必要はございません。

5-1 楽天ペイ(オンライン決済)V2

5.1.1 申込

要求電文 : RakutenAuthorizeRequestDto					
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定	
				都度	随時
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	店舗側で採番した取引 ID を指定	○	○
payType	決済種別	半角数字 1 桁	"2": オンライン決済(V2) 固定。	○	○
accountingType	課金種別	半角数字	利用する決済方法の課金種別を指定 0: 都度(デフォルト値) 1: 随時 ※未指定の場合、“0”都度になります。	△	○
amount	決済金額	半角数字 7 桁以内	決済金額(合計金額)を指定 ※楽天のレギュレーション上、最小金額は 100 円となっています。100 円未満の決済が起こりうる場合には、必ず事前に楽天グループ株式会社にご相談ください。 (ただし、その場合も 2 円未満は指定できません。)	○	×
withCapture	売上フラグ	右記参照	"false": 与信のみ(デフォルト値) "true": 与信+売上 ※ 未指定の場合は、与信のみとなります。 ※ 物品販売の場合、true は許可しません。	△	×
itemId	商品 ID	半角英数字 64 桁以内	店舗側で発番する商品またはサービスの管理用番号を指定	△	×
itemName	商品名	全角半角	商品名を指定 都度決済の場合は、300 文字以内。	△	○

			<p>随時決済の場合は、200 文字以内。 ※楽天の管理画面に表示されます。 ※都度の場合は、楽天の項目「description」にあたりま す。不正注文対策として購入商品情報を楽天指定のフォー マットでセットしてください。詳細は楽天グループ株式会 社が規定するレギュレーションをご参照ください。 ※随時の場合は、楽天の項目「name」にあたりま。サー ビス/商品名が変更された場合でも、値の修正は後から 行えませのでご承知おきください。</p>		
successUrl	決済完了時 URL	URL に使用可能な 半角文字 1024 桁以内	<p>決済成功時に、店舗側サイトに画面遷移を戻すための URL を指定(クエリパラメータ指定可) ※未指定の場合は、管理画面 (MAP) で設定した値を使用</p>	△	△
errorUrl	決済エラー時 URL	URL に使用可能な 半角文字 1024 桁以内	<p>決済エラー/保留時に、店舗側サイトに画面遷移を戻すた めの URL を指定(クエリパラメータ指定可) ※未指定の場合は、管理画面 (MAP) で設定した値を使用 ※決済保留(mstatus=pending)時は、対象取引が成功で ある可能性があるため、消費者への表示や通知の内容 はご注意ください。</p>	△	△
pushUrl	プッシュ URL	URL に使用可能な 半角文字 1024 桁以内	<p>結果通知のプッシュ URL を指定(クエリパラメータ指定可) ※未指定の場合は、管理画面 (MAP) で設定した値を使用</p>	△	△

応答電文 : RakutenAuthorizeResponseDto

フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定	
				都度	随時
serviceType	決済サービスタイプ	半角英数字 10 桁以内	要求電文を送信した決済サービスタイプ	○	○
mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	<p>"success": 正常終了 "failure": 異常終了</p>	○	○
vResultCode	詳細結果コード	半角英数字 16 文字	<p>処理の結果を詳細に表すコード 4 桁ずつ 4 つのブロックで構成され、各ブロックで サービス毎の処理結果を表します。 詳細は『結果コード一覧』を参照ください。</p>	○	○
merrMsg	エラーメッセージ	文字列 1024 バイト以内	処理結果を日本語で表示	○	○
marchTxn	電文 ID	文字列 100 桁以内	<p>決済サーバーにて決済処理電文(内部処理も含 む)毎に付与する ID 1つの取引 ID に対して、複数の ID が付与されま す。</p>	○	○
orderId	取引 ID	半角英数字 100 文字以内	決済要求時に店舗様にて任意に採番し送信され た取引 ID	○	○
custTxn	取引毎に付く ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーがオーダー(取引 ID)と紐付けるた めに採番する ID	○	○
txnVersion	MDK バージョン	半角英数字 5 桁	<p>電文のバージョン 問題発生時などに用いますが、通常ご利用になる ことはありません。</p>	○	○
responseContents	レスポンス コンテンツ	文字列	<p>楽天の支払い画面に遷移するための HTML コン テンツ。 自動で楽天が提供するページに遷移するための JavaScript を含みますので、そのままの内容を消 費者のブラウザに返戻するようにしてください。こ の時、コンテンツの文字コードは必ず UTF-8 に設</p>	△	△

			定してください。		
redirectUrl	リダイレクト URL	文字列	楽天の支払い画面に遷移するための URL レスポンスコンテンツを利用しない場合はこの URL に対し 302 リダイレクトを行ってください。	△	△
rakutenOrderId	楽天取引 ID	文字列 14 桁	決済センターが取引毎に発番する ID ※楽天の利用履歴・メール本文に表示されます。	△	×
gatewayOrderId	決済取引 ID	文字列 20 桁	決済サーバーが取引毎に発番する ID	△	×
rakutenConsentOrderId	楽天承諾時取引 ID	文字列 15 桁	決済センターが随時決済承諾時に発番する ID	×	△

5.1.2 消費者ブラウザから店舗側の完了画面へリダイレクトする時のクエリパラメータ

リダイレクト受信内容: 決済サーバーから消費者ブラウザ経由で店舗へリダイレクト(GET)される内容					
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定	
				都度	随時
mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	"success": 正常終了 "failure": 異常終了 "pending": 保留	○	○
vResultCode	詳細結果コード	半角英数 4 桁	処理の結果を詳細に表すコード 詳細は『結果コード一覧』を参照ください。	○	○
orderId	取引 ID	半角英数字 100 文字以内	決済要求時に店舗様にて任意に採番し送信された取引 ID	○	○
command	コマンド	文字列 右記参照	決済申込結果であることを示す、以下の文字列が設定されます。 "Authorize"	○	○
rakutenOrderId	楽天取引 ID	文字列 14 桁	楽天ペイ(オンライン決済)V2 側で発番された取引を一意に表す ID	△	×
gatewayOrderId	決済取引 ID	文字列 20 桁	決済サーバーが取引毎に発番する ID	△	×
rakutenConsentOrderId	楽天承諾時取引 ID	文字列 15 桁	決済センターが随時決済承諾時に発番する ID	×	△
customerId	顧客 ID	文字列 14 桁	ユーザーを一意に特定できる ID(楽天ペイが採番する ID)	△	△
usedPoint	利用ポイント	半角数字 7 桁以内	利用されたポイント	△	×
cardBrand	クレジットカードのブランド	文字列 16 桁以内	クレジットカードのブランド	△	×
cardLast4	クレジットカード番号の下4桁	半角数字 4 桁	クレジットカード番号の下 4 桁	△	×
cardInstallments	分割払いの回数	半角数字 2 桁以内	クレジットカードの分割払いの回数	△	×
cardCvc	セキュリティコード認証利用有無	右記参照	セキュリティコード認証利用有無 "true": 利用 "false": 利用していない	△	×
card3ds	3D セキュア認証利用有無	右記参照	3D セキュア認証利用有無 "true": 利用 "false": 利用していない	△	×
transactionDatetime	取引成立日時	文字列 14 桁	決済センターで決済が確定した日時。 YYYYMMDDhhmmss 形式	△	×
cancelExpirationTime	取消受付期限	文字列 14 桁	取消の受付期限。 YYYYMMDDhhmmss 形式	△	×
captureExpirationTime	売上受付期限	文字列 14 桁	売上の受付期限。 YYYYMMDDhhmmss 形式	△	×

updateExpirationTime	金額変更受付期限	文字列 14 桁	金額変更の受付期限。 YYYYMMDDhhmmss 形式 ※この期限は、「UpdateAuthorize の金額変更」「Capture の部分売上」「Cancel の部分取消」が対象となります。	△	×
extendAuthExpirationTime	与信延長受付期限	文字列 14 桁	与信延長の受付期限。 YYYYMMDDhhmmss 形式	△	×
vAuthInfo	改ざんチェック用ハッシュ値	文字列 右記参照	下記文字列を連結し、SHA-256 によって算出したハッシュ値 ・マーチャント CCID ・パラメータ値の連結文字列 (authParams が示す順序で連結) ・パスワード なお、パラメータ値を連結する際は、パラメータ名や区切り文字は含めず、パラメータ値のみを連結しています。連結した文字列をバイナリに変換する際の文字エンコーディングは、UTF-8 を使用しています。	○	○
authParams	ハッシュ値算出パラメータ順序	文字列 右記参照	vAuthInfo のハッシュ値を算出する元とした文字列の、パラメータの連結順序を示す値 パラメータ名のカンマ区切り文字列を Base64 エンコードしています。デコードを行うと文字列が復元されます。 例) "orderId,vResultCode,mstatus" "mstatus,orderId,vResultCode" (順不同のため、リクエスト受信の度に動的に処理してください。)	○	○

◇ vAuthInfo および authParams を利用した改ざんチェックについて

決済サーバーから消費者ブラウザを経由して店舗側の結果画面に遷移(リダイレクト)しますが、ここで店舗側システムが受け取ったクエリパラメータが改ざんされていないことを検証するためのパラメータが、vAuthInfo と authParams です。

店舗側システムで算出したハッシュ値が、クエリパラメータより取得した vAuthInfo と一致している場合は、パラメータは改ざんされていない、とみなすことができます。

この改ざんチェックは必須ではありませんが、悪意を持った第三者によって、不正なりダイレクト電文を受信する可能性がありますので、実装を強く推奨しています。

実装方法の詳細につきましては、弊社より提供しているサンプルプログラムをご参照ください。

5.1.3 再与信

要求電文 : RakutenReAuthorizeRequestDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	上記「orderId(取引 ID)について」参照	○
originalOrderId	元取引 ID	半角英数字 100 桁以内	随時決済の決済申込時に指定した取引 ID を指定	○
amount	決済金額	半角数字 7 桁以内	決済金額(合計金額)を指定 ※楽天のレギュレーション上、最小金額は 100 円となっています。100 円未満の決済が起こりうる場合には、必ず事前に楽天グループ株式会社にご相談ください。	○

			(ただし、その場合も2円未満は指定できません。)	
withCapture	与信同時売上フラグ	右記参照	<p>"true" : 与信+売上</p> <p>"false" : 与信のみ(デフォルト値)</p> <p>※未指定の場合は、与信のみとなります。</p>	△
itemId	商品 ID	半角英数字 64 桁以内	店舗側で発番する商品またはサービスの管理用番号を指定	△
itemName	商品名	全角半角 300 文字以内	<p>商品名を指定</p> <p>※楽天の管理画面に表示されます。</p> <p>※楽天の項目「description」にあたります。不正注文対策として購入商品情報を楽天指定のフォーマットでセットしてください。詳細は楽天グループ株式会社が規定するレギュレーションをご参照ください。</p> <p>※未指定の場合は、随時決済の決済申込時に指定した取引の「itemName」を設定します。</p>	△

応答電文 : RakutenReAuthorizeResponseDto

フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
serviceType	決済サービスタイプ	半角英数字 10 桁以内	要求電文を送信した決済サービスタイプ	○
mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	<p>"success": 正常終了</p> <p>"failure": 異常終了</p> <p>"pending": 保留</p>	○
vresultCode	詳細結果コード	半角英数字 16 文字	<p>処理の結果を詳細に表すコード</p> <p>4 桁ずつ 4 つのブロックで構成され、各ブロックでサービス毎の結果を表します。</p> <p>詳細は『結果コード一覧』を参照ください。</p>	○
merrMsg	エラーメッセージ	文字列 1024 byte 以内	処理結果を日本語で表示	○
marchTxn	電文 ID	文字列 100 桁以内	<p>決済サーバーにて決済処理電文(内部処理も含む)毎に付与する ID</p> <p>1 つの取引 ID に対して、複数の ID が付与されます。</p>	○
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	再与信要求時に店舗様にて任意に採番し送信された取引 ID	○
custTxn	取引毎に付く ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーがオーダー(取引 ID)と紐付けるため為に採番する ID	○
txnVersion	MDK バージョン	半角英数字 5 桁	<p>電文のバージョン</p> <p>問題発生時などに用いますが、通常ご利用になることはありません。</p>	○
originalOrderId	元取引 ID	半角英数字 100 桁以内	再与信要求時に指定された随時決済の決済申込時に指定した取引 ID	○
rakutenOrderId	楽天取引 ID	文字列 14 桁	楽天ペイ(オンライン決済)V2 側で発番された取引を一意に表す ID	△
gatewayOrderId	決済取引 ID	文字列 20 桁	決済サーバーが取引毎に発番する ID	△
rakutenConsentOrderId	楽天承諾時取引 ID	文字列 15 桁	決済センターが随時決済承諾時に発番する ID	△
customerId	顧客 ID	文字列 14 桁	ユーザーを一意に特定できる ID(楽天ペイが採番する ID)	△
usedPoint	利用ポイント	半角数字 7 桁以内	利用されたポイント	△
cardBrand	クレジットカードのブランド	文字列 16 桁以内	クレジットカードのブランド	△
cardLast4	クレジットカード番号の下4桁	半角数字 4 桁	クレジットカード番号の下4桁	△
cardInstallments	分割払いの回数	半角数字 2 桁以内	クレジットカードの分割払いの回数	△

cardCvc	セキュリティコード認証利用有無	右記参照	セキュリティコード認証利用有無 "true": 利用 "false": 利用していない	△
card3ds	3D セキュア認証利用有無	右記参照	3D セキュア認証利用有無 "true": 利用 "false": 利用していない	△
transactionDatetime	取引成立日時	文字列 14 桁	決済センターで決済が確定した日時。 YYYYMMDDhhmmss 形式	△
cancelExpirationTime	取消受付期限	文字列 14 桁	取消の受付期限。 YYYYMMDDhhmmss 形式	△
captureExpirationTime	売上受付期限	文字列 14 桁	売上の受付期限。 YYYYMMDDhhmmss 形式	△
updateExpirationTime	金額変更受付期限	文字列 14 桁	金額変更の受付期限。 YYYYMMDDhhmmss 形式 ※この期限は、「UpdateAuthorize の金額変更」「Capture の部分売上」「Cancel の部分取消」が対象となります。	△
extendAuthExpirationTime	与信延長受付期限	文字列 14 桁	与信延長の受付期限。 YYYYMMDDhhmmss 形式	△

5.1.4 与信変更

要求電文 : RakutenUpdateAuthorizeRequestDto

フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	与信変更対象の取引 ID を指定 ※随時決済取引の場合は再与信を行った取引 ID を指定します。	○
amount	変更金額	半角数字 7 桁以内	変更する金額を指定。 ※未指定時は金額変更を行いません。	△
authExtensionFlag	与信延長フラグ	右記参照	"true": 行う "false": 行わない ※指定がない場合は、「行わない」となります。 与信期限を延長する場合は「true」としてください	△

応答電文 : RakutenUpdateAuthorizeResponseDto

フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
serviceType	決済サービスタイプ	半角英数字 10 桁以内	要求電文を送信した決済サービスタイプ	○
mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	"success": 正常終了 "failure": 異常終了 "pending": 保留	○
vResultCode	詳細結果コード	半角英数字 16 文字	処理の結果を詳細に表すコード 4 桁ずつ 4 つのブロックで構成され、各ブロックでサービス毎の処理結果を表します。 詳細は『結果コード一覧』を参照ください。	○
merrMsg	エラーメッセージ	文字列 1024 バイト以内	処理結果を日本語で表示	○
marchTxn	電文 ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーにて決済処理電文(内部処理も含む)毎に付与する ID 1 つの取引 ID に対して、複数の ID が付与されます。	○
orderId	取引 ID	半角英数字	決済要求時に店舗様にて任意に採番し送信された取引 ID	○

		100 文字以内		
custTxn	取引毎に付く ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーがオーダー(取引 ID)と紐付けるために採番する ID	○
txnVersion	MDK バージョン	半角英数字 5 桁	電文のバージョン 問題発生時に用いますが、通常ご利用になることはありません。	○
transactionDatetime	取引成立日時	文字列 14 桁	決済センターで決済が確定した日時 YYYYMMDDhhmmss 形式	△
rakutenOrderId	楽天取引 ID	文字列 14 桁	決済センターが取引毎に発番する ID	※
gatewayOrderId	決済取引 ID	文字列 20 桁	決済サーバーが取引毎に発番する ID	※
amount	金額	半角数字 7 桁以内	金額	※
usedPoint	利用ポイント	半角数字 7 桁以内	利用されたポイント	※
cancelExpirationTime	取消受付期限	文字列 14 桁	取消の受付期限。 YYYYMMDDhhmmss 形式	※
captureExpirationTime	売上受付期限	文字列 14 桁	売上の受付期限。 YYYYMMDDhhmmss 形式	※
updateExpirationTime	金額変更受付期限	文字列 14 桁	金額変更の受付期限。 YYYYMMDDhhmmss 形式 ※この期限は、「UpdateAuthorize の金額変更」「Capture の部分売上」「Cancel の部分取消」が対象となります。	※
extendAuthExpirationTime	与信延長受付期限	文字列 14 桁	与信延長の受付期限。 YYYYMMDDhhmmss 形式	※

※基本的に処理成功時に返戻する項目ですが、処理失敗時も楽天から連携された場合には返戻します。

5.1.5 売上

要求電文 : RakutenCaptureRequestDto

フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	売上対象の取引 ID を指定 ※随時決済取引の場合は再与信を行った取引 ID を指定します。	○
amount	売上金額	半角数字 7 桁以内	売上金額を指定 ※未指定時は全額売上となります。 ※楽天のレギュレーション上、最小金額は 100 円となっています。100 円未満の決済が起こりうる場合には、必ず事前に楽天グループ株式会社にご相談ください。 (ただし、その場合も 2 円未満は指定できません。)	△

応答電文 : RakutenCaptureResponseDto

フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
serviceType	決済サービスタイプ	半角英数字 10 桁以内	要求電文を送信した決済サービスタイプ	○
mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	"success": 正常終了 "failure": 異常終了 "pending": 保留	○
vResultCode	詳細結果コード	半角英数字 16 文字	処理の結果を詳細に表すコード 4 桁ずつ 4 つのブロックで構成され、各ブロックでサービス毎	○

			の処理結果を表します。 詳細は『結果コード一覧』を参照ください。	
merrMsg	エラーメッセージ	文字列 1024 バイト以内	処理結果を日本語で表示	○
marchTxn	電文 ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーにて決済処理電文(内部処理も含む)毎に付与する ID 1つの取引 ID に対して、複数の ID が付与されます。	○
orderId	取引 ID	半角英数字 100 文字以内	決済要求時に店舗様にて任意に採番し送信された取引 ID	○
custTxn	取引毎に付く ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーがオーダー(取引 ID)と紐付けるために採番する ID	○
txnVersion	MDK バージョン	半角英数字 5 桁	電文のバージョン 問題発生時などに用いますが、通常ご利用になることはありません。	○
transactionDatetime	取引成立日時	文字列 14 桁	決済センターで決済が確定した日時 YYYYMMDDhhmmss 形式	△
rakutenOrderId	楽天取引 ID	文字列 14 桁	決済センターが取引毎に発番する ID	△
gatewayOrderId	決済取引 ID	文字列 20 桁	決済サーバーが取引毎に発番する ID	△
usedPoint	利用ポイント	半角数字 7 桁以内	利用されたポイント	△

5.1.6 取消

要求電文 : RakutenCancelRequestDto

フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	取消対象の取引 ID を指定 ※随時決済取引の場合は再与信を行った取引 ID を指定します。	○
amount	減額金額	半角数字 7 桁以内	減額する金額を指定。 ※未指定の場合は全額取消となります。 ※売上前の場合は全額以外を指定できません。	※

応答電文 : RakutenCancelResponseDto

フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
serviceType	決済サービスタイプ	半角英数字 10 桁以内	要求電文を送信した決済サービスタイプ	○
mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	"success": 正常終了 "failure": 異常終了 "pending": 保留	○
vResultCode	詳細結果コード	半角英数字 16 文字	処理の結果を詳細に表すコード 4 桁ずつ 4 つのブロックで構成され、各ブロックでサービス毎の処理結果を表します。 詳細は『結果コード一覧』を参照ください。	○
merrMsg	エラーメッセージ	文字列 1024 バイト以内	処理結果を日本語で表示	○
marchTxn	電文 ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーにて決済処理電文(内部処理も含む)毎に付与する ID 1つの取引 ID に対して、複数の ID が付与されます。	○
orderId	取引 ID	半角英数字 100 文字以内	決済要求時に店舗様にて任意に採番し送信された取引 ID	○
custTxn	取引毎に付く ID	文字列	決済サーバーがオーダー(取引 ID)と紐付けるために採番す	○

		100 桁以内	る ID	
txnVersion	MDK バージョン	半角英数字 5 桁	電文のバージョン 問題発生時などに用いますが、通常ご利用になることはありません。	○
balance	残高	半角数字 7 桁以内	現在の決済金額 ※部分取消の場合は、元の売上金額から取消金額を差し引いた金額が設定される。	△
transactionDatetime	取引成立日時	文字列 14 桁	決済センターで決済が確定した日時 YYYYMMDDhhmmss 形式	△
rakutenOrderId	楽天取引 ID	文字列 14 桁	決済センターが取引毎に発番する ID	△
gatewayOrderId	決済取引 ID	文字列 20 桁	決済サーバーが取引毎に発番する ID	△
usedPoint	利用ポイント	半角数字 7 桁以内	利用されたポイント	△

5-2 共通

5.2.1 検索

■「設定」欄の内容は以下の通りとなります。

要求電文 … 必須項目:○ 任意項目:△ 設定不可:× その他条件付:※(条件は説明欄に記入)

応答電文 … 必ず返戻:○ 該当取引存在時に返戻:△ 返戻なし:× その他条件付:※

■複数指定は 0~ の添字を指定します。

例) `exparam.serviceTypeCd[0]=card&exparam.serviceTypeCd[1]=rakuten`

■ワイルドカードは値の一部と“*”を組み合わせで検索します。“*”のみの指定はできません。

例) `exparam.searchParameters.common.orderId=123*`

■通常の検索の他、マスタ情報取得が可能です。マスタ情報取得時のインターフェイスは後記します。

要求電文 : SearchRequestDto						
※ 以下は、共通の検索要求フィールドです。						
検索フィールド名	検索項目名	書式・制限	複数指定	ワイルドカード	説明	設定
requestId	リクエスト ID	半角英数字記号 128 文字以内			リクエスト ID を指定します。指定した場合は、それ以外のパラメータは指定できなくなります。	△
serviceTypeCd	決済サービスタイプ	右記参照	○		検索対象の決済を指定します。未指定の場合は、全決済が検索対象となります。 “rakuten”: 楽天ペイ(オンライン決済)V2	△
newerFlag	最新トランザクションフラグ	右記参照			成功、失敗に関係なく、最新トランザクションのみを検索する場合に使用します。 “true”: 1 取引内の最新トランザクションのみ検索 “false”: すべてのトランザクションを検索 ※指定しない場合は“false”になります。	△
containDummyFlag	ダミー決済対象フラグ	右記参照			ダミー取引も検索する場合に使用します。 “true”: ダミー取引も検索する “false”: ダミー取引は検索しない ※指定しない場合は“false”になります。	△
maxCount	検索最大件数	1~1000			取得したい検索結果の最大件数です。未指定の場合、最大値となります。 ※短時間で大量の検索を繰り返すような処理はサーバーに負荷が掛かりますのでご遠慮いただけますようお願いいたします。	△
common 共通						
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以		○	検索したい取引 ID を指定します。	△

		内				
orderStatus	取引決済状態	右記参照	○		以下のいずれかを指定します。 "initial":初期状態 "end":終了 "end_presentation":画面遷移正常終了 "pending":保留 "validation_error":検証エラー "expired":期限切れ "error":エラー	△
command	コマンド	右記参照	○		決済で使用するコマンドを指定します。 "Authorize": 申込(与信)/申込(与信+売上)/申込(承諾) "ReAuthorize":再与信 "UpdateAuthorize":与信変更 "Capture":売上 "Cancel":取消	△
mstatus	ステータスコード	右記参照	○		決済結果として返戻されるステータスコードを指定します。 "success":成功 "failure":失敗 "pending":保留	△
txnDatetime.from	取引日(From)	文字列 12 桁			取引日時の範囲(From)を指定します。 YYYYMMDDhhmm 形式	△
txnDatetime.to	取引日(To)	文字列 12 桁			取引日時の範囲(To)を指定します。 YYYYMMDDhhmm 形式	△
amount.from	金額(From)	数字 12 桁以内			決済金額の範囲(From)を指定します。	△
amount.to	金額(To)	数字 12 桁以内			決済金額の範囲(To)を指定します。	△

※ 以下は、楽天ペイ(オンライン決済)V2 固有の検索要求フィールドです。

rakuten 楽天ペイ(オンライン決済)V2						
detailOrderType	詳細オーダー決済状態	右記参照	○		※「detailOrderType」の詳細については、6-8 検索(Search)に関する補足(詳細コマンドタイプ/詳細オーダー決済状態/承諾状態)を参照。	△
detailCommandType	詳細コマンドタイプ	右記参照	○		※「detailCommandType」の詳細については、6-8 検索(Search)に関する補足(詳細コマンドタイプ/詳細オーダー決済状態/承諾状態)を参照。	△
payType	決済種別	半角数字 1 桁	○		"2": オンライン決済(V2)	△
accountingType	課金種別	半角数字 1 桁			決済申込時に指定した課金種別 "0": 都度決済 "1": 随時決済	△
consentStatus	承諾状態	右記参照	○		※「consentStatus」の詳細については、6-8 検索(Search)に関する補足(詳細コマンドタイプ/詳細オーダー決済状態/承諾状態)を参照。	△
originalOrderId	元取引 ID	半角英数字 100 桁以内		○	検索したい元取引 ID を指定します。	△

応答電文 : SearchResponseDto				
※ 以下は、共通の検索結果フィールドです。				
検索フィールド名	検索項目名	書式・制限	説明	設定
result	処理結果	—		○
serviceType	サービスタイプ	右記参照	"search"	○
mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	処理の結果ステータスが格納されます。 "success": 正常終了 "failure": 異常終了 "pending": 保留	○
vResultCode	詳細結果コード	半角英数字 16 文字	処理の結果を詳細に表すコードとなります。 詳細は『結果コード一覧』を参照ください。	○
merrMsg	エラーメッセージ	文字列 1024 バイト以内	処理結果を日本語で表示します。	△
overMaxCountFlag	最大件数超えフラグ	右記参照	検索対象データが要求電文で指定した検索最大件数より多いかどうかを表します。 "true": 最大件数以上 "false": 最大件数未満	△
searchCount	検索結果件数	0~1000	検索結果件数(オーダー件数)が格納されます。	△
orderInfos	オーダー情報リスト		複数のオーダー情報(orderInfo)が格納されます。	△
orderInfo	オーダー情報	—	検索条件に該当した取引の情報が該当件数分繰り返されます。0~1000 件(要求電文で指定した検索最大件数まで)となります。	△
index	インデックス	0~999	検索された情報のインデックスが格納されます。	△
serviceTypeCd	決済サービスタイプ	右記参照	決済の種類が格納されます。 "rakuten": 楽天ペイ(オンライン決済)V2	△
orderId	取引 ID	文字列	取引の取引 ID が格納されます。	△
orderStatus	取引決済状態	右記参照	決済の状態が格納されます。 "initial": 初期状態 "end": 終了 "end_presentation": 画面遷移正常終了 "pending": 保留 "validation_error": 検証エラー "expired": 期限切れ "error": エラー ※このフィールドは、取引 ID に関連する注文データの状態を完全に表現するものではありません。サービスタイプによっては詳細な状態遷移を別のフィールドに保持している場合がありますので、店舗側システムの用途に合わせて successDetailTxnType や、決済固有の状態フィールドをご参照ください。	△
lastSuccessTxnType	最終成功トランザクションタイプ	文字列	直近の成功したコマンド名が格納されます。	△
successDetailTxnType	詳細トランザクションタイプ	文字列	取引の詳細な状態が格納されます。 検索要求電文の各決済の detailOrderType 参照。	△

	properOrderInfo	固有オーダー情報	—	各決済サービスの固有オーダー情報が格納され ます。後述の一覧参照。	△
	transactionInfos	決済トランザクシ ョンリスト	—	複数の決済トランザクシ ョン情報(transactionInfo) が格納されます。	△
	transactionInfo	決済トランザクシ ョン情報	—	検索条件に該当した取引の情報が該 当件数分繰り返されます。	△
	txnId	トランザクシ ョン管理 ID	文字列	決済サーバーが採番する管理 ID となります。	△
	command	コマンド	文字列	実行されたコマンド名が格納され ます。 ※MDK で要求したコマンドだけ でなく、決済サーバーの内部 処理コマンドも含まれます。	△
	mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文 字以内	処理の結果ステータスが格納され ます。 "success": 正常終了 "failure": 異常終了 "pending": 保留	△
	vResultCode	詳細結果コード	文字列 16 桁	処理の結果を詳細に表すコードと なります。 詳細は『結果コード一覧』を参 照ください。	△
	txnDatetime	取引日時	文字列 23 桁	取引日時が格納されます。 YYYY-MM-DD hh:mi:ss.mmm 形式	△
	amount	金額	半角数字 12 桁以 内	決済した金額が格納されます。	△
	properTransacti onInfo	固有トランザクシ ョン 情報	—	各決済サービスの固有トランザク シ ョン情報が格納 されます。後述の一覧参照。	△

★ 以下の情報は、上記「固有オーダー情報」「固有トランザクシ
ョン情報」内の階層にセットされます。

※ 以下は、楽天ペイ(オンライン決済)V2 固有の検索結果フィールドです。

properOrderInfo	楽天ペイ(オンライン決済)V2 固有オーダー情報				
withCapture	与信同時売上フラグ	文字列		決済申込時に指定した与信同時 売上フラグ	△
itemName	商品名	文字列		決済申込時に指定した商品名	△
itemId	商品 ID	文字列		決済申込時に指定した商品 ID	△
authorizeAmount	申込金額	半角数字 7 桁以 内		決済申込時に指定した金額	△
balance	残高	半角数字 7 桁以 内		残高(現在の決済金額)	△
usedPoint	楽天ポイント利用額	半角数字 7 桁以 内		楽天ポイント利用額(参考値)	△
authorizeDatetime	決済申込日時	文字列 14 桁		決済申込日時 YYYYMMDDhhmmss 形式	△
rakutenOrderId	楽天オーダーID	文字列 14 桁		楽天側で発番された取引 ID ※楽天様ご提供管理画面(Dash board)では「注文番号」に該 当	△
gatewayOrderId	決済取引 ID	文字列 20 桁		決済サーバーが取引毎に発番す る ID	△
cardBrand	クレジットカードのブ ランド	文字列 16 桁以 内		クレジットカードのブランド	△
cardLast4	クレジットカード番号 の下 4 桁	半角数字 4 桁		クレジットカード番号の下 4 桁	△
cardInstallments	分割払いの回数	半角数字 2 桁以 内		クレジットカードの分割払いの 回数	△
cardCvc	セキュリティコード認 証利用有無	右記参照		"true": 利用 "false": 利用していない セキュリティコード認証利用有 無	△
card3ds	3D セキュア認証利 用有無	右記参照		"true": 利用 "false": 利用していない 3D セキュア認証利用有無	△
cancelExpirationTime	取消受付期限	文字列 14 桁		取消の受付期限。 YYYYMMDDhhmmss 形式	△

captureExpirationTime	売上受付期限	文字列 14 桁	売上の受付期限。 YYYYMMDDhhmmss 形式	△
updateExpirationTime	金額変更受付期限	文字列 14 桁	金額変更の受付期限。 YYYYMMDDhhmmss 形式 ※この期限は、「UpdateAuthorize の金額変更」 「Capture の部分売上」「Cancel の部分取消」が対象 となります。	△
extendAuthExpirationTime	与信延長受付期限	文字列 14 桁	与信延長の受付期限。 YYYYMMDDhhmmss 形式	△
accountingType	課金種別	文字列	決済申込時に指定した課金種別 "0": 都度決済 "1": 随時決済	△
consentStatus	承諾状態	右記参照	※「consentStatus」の詳細については、6-8 検索 (Search)に関する補足(詳細コマンドタイプ/詳細オ ーダー決済状態/承諾状態)を参照。 ※随時決済の場合のみ返戻されます。	※
originalOrderId	元取引 ID	文字列	随時決済の申込で指定した取引 ID ※随時決済の場合のみ返戻されます。	※
rakutenConsentOrderId	楽天承諾時取引 ID	文字列 15 桁	決済センターが随時決済承諾時に発番する ID ※随時決済利用時のみ。	※
customerId	顧客 ID	文字列 14 桁	ユーザーを一意に特定できる ID(楽天ペイが採番す る ID)	△
properTransactionInfo	楽天ペイ(オンライン決済)V2 固有トランザクション情報			
rakutenApiErrorCode	楽天 API エラーコード	文字列 128 桁以内	楽天側システムから返却されたエラーコードが格納 されます。	△
rakutenApiErrorType	楽天 API エラータイプ	文字列 128 桁以内	楽天側システムから返却されたエラータイプが格納 されます。	△
detailCommandType	詳細コマンドタイプ	文字列	※「detailCommandType」の詳細については、6-8 検 索(Search)に関する補足(詳細コマンドタイプ/詳細 オーダー決済状態/承諾状態)を参照。	△
rakutenRequestDatetime	楽天への要求日時	文字列 14 文字	楽天への要求日時が格納されます。 YYYYMMDDhhmmss 形式	△
rakutenResponseDatetime	楽天からの返戻日時	文字列 14 文字	楽天からの返戻日時が格納されます。 YYYYMMDDhhmmss 形式	△

5-3 結果通知電文

5.3.1 結果通知電文の概要

実装方法の詳細につきましては、弊社より提供しているサンプルプログラムをご参照ください。

■ 機能概要

決済サーバーから店舗システムへ決済の結果通知を行います。

通知は、HTTP の POST を利用します。

※ プロトコルは HTTP (Port: 80)、HTTPS (Port: 443) に対応しています。

処理の概要については「第 4 章 結果通知受信処理」をご参照ください。

■ HMAC について

POST にてデータを通知する時、リクエストヘッダーに HMAC を設定します。

また、HMAC 値は、リクエストボディから算出します。

アルゴリズムは「HmacSHA256」が設定されます。

フィールド名	設定値
content-hmac	h={アルゴリズム名};s={CCID};v={HMAC 値}

■ 結果通知受信処理結果について

決済サーバーからの通知に対して店舗側システムが HTTP ステータスコード“200”を返戻した場合、受信処理が正常に終了したものと判断します。“200”以外のコードを返した場合は、受信失敗と判断し、一定期間、通知を繰り返します。

※ 規定の回数失敗した場合は、通知処理が停止しますのでご注意ください。

5.3.2 結果通知のタイミング

楽天ペイ(オンライン決済)V2 における結果通知電文の種類と通知タイミングを下表に示します。

No.	通知種類	通知タイミング	注意事項
1	決済申込完了通知 (Authorize)	楽天から結果を受け取ったタイミングで送信されます。	成功・失敗・保留を問わず、結果が送信されません。 保留時は決済結果が確定した時点で再度、送信されます。
2	売上結果通知 (Capture)	楽天から結果を受け取ったタイミングで送信されます。(※都度のみ)	
3	取消結果通知 (Cancel)		

表 5-3-1 楽天ペイ (オンライン決済) V2 の結果通知一覧

通知タイミングは、大きく分けて2つのタイミングに分かれます。

(1) 決済に消費者ブラウザが介在する場合、申込完了を通知するケース

楽天ペイ(オンライン決済)V2 では、決済が成立しているにもかかわらず、消費者が画面遷移の途中で離脱した場合や、通信環境の問題で画面遷移時にタイムアウトが発生した場合など、最終遷移先まで到達しない場合があります。

このような場合にも、決済サーバーからの通知を店舗側システムで受信していただくことで、決済が成立したことを検知することができます。

対象の通知は、“Authorize”: 決済申込完了通知です。

(2) 売上、取消の結果を通知するケース

売上、取消の応答結果を、結果通知でも通知します。

本機能は、主に楽天ペイ(オンライン決済)V1 を利用していた加盟店に向けた機能となります。

V1 では、売上要求／取消要求の応答は、要求が楽天側で正常に受理されたかどうかのみを返しており、売上処理／取消処理が成功したかどうかは、決済サーバーが楽天側の処理結果の取り込みを行った後、非同期で店舗側システムに結果通知を送信していました。そのため、V1 利用加盟店が移行しやすいように用意した機能となります。

対象の通知は、“Capture”：売上結果通知 と、“Cancel”：取消結果通知 です。

注) 与信同時売上 (Authorize + withCapture=true) の場合は、売上結果通知は送信されませんので、店舗側システムでは、決済申込完了通知を受信した時点で売上成功とみなすように実装してください。

5.3.3 結果通知項目

楽天ペイ(オンライン決済)V2 の結果通知項目およびフォーマットを下表に示します。

項番	フィールド名	項目名	書式・制限	説明
1	numberOfNotify	通知件数	半角数字 4 桁以内	1 度に通知可能な件数は 50 件、51 件以上は次回通知
2	pushTime	送信時刻	半角数字 14 桁	ゲートウェイから通知した時刻 yyyyMMddHHmmss 形式
3	pushId	識別 ID	半角数字 8 桁	プッシュ処理を行う度に採番される ID。 注) 他の決済サービスで使用された ID と重複する場合があります。
通知件数分下記の項番(4~26)を繰り返す。なお、フィールド名の後ろに 4 ケタの連番(0000~0049)を付与する。				
4	orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	取引 ID
5	txnType	トランザクションタイプ	※右記の説明を参照	“Authorize”：決済申込完了通知 “Capture”：売上結果通知 “Cancel”：取消結果通知
6	txnTime	処理日時	半角数字 14 桁	yyyyMMddHHmmss 形式
7	vresultCode	詳細結果コード	半角英数字 4 桁	処理結果コードの詳細は、 『結果コード一覧』をご参照ください。
8	mstatus	処理ステータス	半角英数字 8 桁以内	“success”：正常終了 “failure”：異常終了 “pending”：保留
9	usedPoint	楽天ポイント利用額	半角数字 7 桁以内	楽天ポイント利用額(参考値)
10	gatewayOrderId	決済取引 ID	文字列 20 桁	決済サーバーが取引毎に発番する ID
11	rakutenApiErrorCode	楽天 API エラーコード	文字列 128 桁以内	楽天システムが返戻したエラーコード
12	rakutenApiErrorType	楽天 API エラータイプ	文字列 128 桁以内	楽天システムが返戻したエラータイプ
13	dummy	ダミー決済フラグ	半角数字 1 桁	ダミー取引を示す場合は“1”を設定する。
以下は、決済申込完了通知(Authorize)の場合に連携される項目です。				
14	customerId	顧客 ID	文字列 14 桁	ユーザーを一意に特定できる ID(楽天ペイが採番する ID)
以下は、都度決済利用時の決済申込完了通知(Authorize)の場合に連携される項目です。				
15	rakutenOrderId	楽天取引 ID	文字列 14 桁	楽天システムが発番した取引 ID ※楽天様ご提供管理画面(Dashboard)では「注文番号」に該当
16	cardBrand	クレジットカードのブランド	文字列 16 桁以内	クレジットカードのブランド
17	cardLast4	クレジットカード番号の下 4 桁	半角数字 4 桁	クレジットカード番号の下 4 桁
18	cardInstallments	分割払いの回数	半角数字 2 桁以内	クレジットカードの分割払いの回数
19	cardCvc	セキュリティコード認証 利用有無	右記参照	“true”：利用 “false”：利用していない

				セキュリティコード認証利用有無
20	card3ds	3D セキュア認証利用有無	右記参照	"true": 利用 "false": 利用していない 3D セキュア認証利用有無
21	cancelExpirationTime	取消受付期限	文字列 14 桁	取消の受付期限。 YYYYMMDDhhmmss 形式
22	captureExpirationTime	売上受付期限	文字列 14 桁	売上の受付期限。 YYYYMMDDhhmmss 形式
23	updateExpirationTime	金額変更受付期限	文字列 14 桁	金額変更の受付期限。 YYYYMMDDhhmmss 形式 ※この期限は、「UpdateAuthorize の金額変更」 「Capture の部分売上」「Cancel の部分取消」が 対象となります。
24	extendAuthExpirationTime	与信延長受付期限	文字列 14 桁	与信延長の受付期限。 YYYYMMDDhhmmss 形式
以下は、随時決済利用時の決済申込完了通知(Authorize)の場合に連携される項目です。				
25	rakutenConsentOrderId	楽天承諾時取引 ID	文字列 15 桁	決済センターが随時決済承諾時に発番する ID
以下は、売上結果通知(Capture)、取消結果通知(Cancel)の場合に連携される項目です。				
26	balance	残高	半角数字 7 桁以内	現在の決済金額 ※部分取消の場合は、元の売上金額から 取消金額を差し引いた金額が設定される。

(注意事項)

- ◇ pushId(識別 ID)は、他の決済サービスで使用された Id と重複する場合がありますので、ユニークキーとして処理しないようにしてください。
- ◇ 項目の並び順は、必ずしも表の順序とは一致しません。

第6章 その他 補足事項

6-1 楽天ペイ(オンライン決済)V2 のレギュレーションについて

楽天ペイ(オンライン決済)V2 の導入には、楽天グループ株式会社が規定するレギュレーションを遵守していただく必要があります。楽天グループに関する名称、サービス名称や、ロゴ・ボタン等に関する表記審査をはじめ、ご利用のオプション機能用のレギュレーションがございますので、詳細につきましては、楽天グループ株式会社にお問い合わせください。

6-2 チャージバックに関する注意事項

チャージバック発生時の諸手続きは、楽天グループ株式会社より加盟店様へご連絡が行われ、手続きについてのご案内がございますが、チャージバックの情報は弊社の決済サーバーには連携しておりませんので、以下の点にご注意ください。

- チャージバック対象の取引につきまして、楽天システム側でキャンセル処理が行われた場合、弊社の管理画面(以下、MAP)で表示される当該取引の状態は、売上が成立した状態のまま残ります。
- 楽天システム側でチャージバックによるキャンセル処理が行われた取引に対して、MAP から、または API(MDK)で取消を行うことはできません(取消が要求された場合は、エラー応答となります)。

チャージバックに関する詳細につきましては、楽天グループ株式会社にお問い合わせください。

6-3 Authorize 以降のコマンドに関する注意事項

6.3.1 要求可能期間

楽天ペイ(オンライン決済)V2 における、要求可能期間を下表に示します。

※下記、「決済申込日」は、都度決済の申込日と、随時決済の再与信日をさしています。

要求種類		要求可能期間
売上		決済申込日(与信日)を起算日として、365 日後まで かつ、最後の与信(※)を起算日として、30 日後まで
取消	売上前	決済申込日(与信日)を起算日として、365 日後まで
	売上後	決済申込日(与信日)を起算日として、365 日後まで かつ、売上日を起算日として、30 日後まで
与信変更	与信期限延長	決済申込日(与信日)を起算日として、365 日後まで かつ、最後の与信(※)を起算日として、160 日後まで ※1 つの取引に対して、15 回までリクエスト可能
	金額変更	決済申込日(与信日)を起算日として、365 日後まで かつ、最後の与信(※)を起算日として、30 日後まで

表 6-3-1 要求可能期間

※決済申込日または与信変更(与信期限延長) 日の最新の方

- 例えば、8/1に決済申込を行い、そのままの場合は、決済申込日が最後の与信日となる。
- 例えば、8/1に決済申込を行い、8/15と9/1に与信変更(与信期限延長)を行った場合は、9/1の与信変更(与信期限延長)が最後の与信日となる。

■ 取消時の注意点

何らかの理由により、カード会社への要求が拒否された場合は、取消が行えない場合がございます。

6.3.2 物品販売における売上要求タイミングに関する注意事項

楽天ペイ(オンライン決済)V2では、物品販売の場合、商品を発送する前に売上を行うことが禁止されています。

必ず、商品の発送後に売上を行うか、多少の前後は問題ございませんので、できる限り消費者への商品発送と同じタイミングで売上を行うようにしてください。

6.3.3 与信変更利用の注意事項

以下の事項についてご確認のうえ、与信変更コマンドを利用ください。

- 決済申込時に3Dセキュア認証を行っていた場合に、与信変更(与信延長/金額変更)を実施すると都度決済では**3Dセキュアが無効**になります。随時決済では利用承諾時に3Dセキュア認証を呼び出すことができますが、再与信では**3Dセキュア対象外**となります。
3Dセキュア認証が無効・対象外となると、万が一不正利用が発生した場合、加盟店様側のチャージバック負担になる可能性がありますので、ご注意ください。
- 与信延長については、注文から30日を超える予約商材への利用を想定しています。
楽天ペイ側では上記以外の利用は許容されていないため、ご注意ください。

6-4 保留等の取引の確認

以下の場合に、弊社のシステムで状態を確認し、ステータス等を変更する場合がございます。

- 例えば、「与信保留」の取引について状態を確認し、成功していたためステータスを「与信成功」と変更する。

取引種類	結果通知
決済申込後、消費者の対応(支払い画面等で購入など)がない取引	○
売上保留の取引	△(※)
取消保留の取引	△(※)
与信変更保留の取引	-

表 6-4 対象取引

※結果通知対象の有無については、「4-1 結果通知受信処理の対象」を参照してください。

6-5 楽天ポイントを利用した決済に関する注意点

楽天ポイントを利用した決済では、消費者が楽天ペイ(オンライン決済)V2の購入画面で利用額を設定します。

以下に、楽天ポイントを利用した決済についての注意点を示します。

■ 決済金額の変更時にはポイント利用額が変更される場合があります。

金額の変更(部分売上、部分取消、与信変更(金額変更))が発生した場合、クレジットカードの利用額を優先して減額が行われますが、ポイント・キャッシュ(以下、ポイント)充当設定額を下回った場合にはポイント利用額が減額されます。

- 例えば、購入金額 1,000 円 (うちポイント利用額 900 円)で申込が成立した取引について、部分売上で 800 円の売上を確定した場合は全額がポイント利用となるため、ポイント利用額は 800 円に変更されます。

■ ポイント利用額が変更となった場合に、ポイントが消費者へ返却されるタイミングは以下となります。

取消処理、または金額の変更(部分売上、部分取消)により、注文金額がポイント充当設定額を下回った場合には、各処理が正常に完了した時点で消費者へポイントが返却されます。

ただし、期間限定ポイントを利用している、かつ、取消日が有効期限を経過していると失効となり返還されません。

また、加盟店様側にて、売上および取消の要求可能期間(※1)内に売上処理、または取消処理が完了していない取引に関しましては、消費者の楽天ポイントは返却されず利用された状態のままとなります。

加盟店様にて、与信の状態のまま、売上処理、または取消処理を行わずに要求可能期間切れとなりますと、楽天側にて自動でキャンセルされますが(この際、消費者へのキャンセルメールの送信はされません)、可能な限り加盟店様側で適宜売上または取消処理を行っていただくようお願いいたします。

与信の時点で既に楽天ポイントが引き落とされているため、後続処理をお願いいたします。与信の時点で既に楽天ポイントが引き落とされているため、後続処理を行わずに放置してしまうと後のトラブルに繋がる可能性があります。

※1:売上および取消の要求可能期間については、「6.3.1 要求可能期間」をご参照ください。

6-6 デビットカード利用について

消費者がデビットカードを利用した注文に対して、与信変更や部分売上、部分取消時にはその都度消費者の銀行口座より引き落とされる可能性があります。その後通常自動で返金処理は行われますが、処理タイミングや方法はカード会社によって異なるためご注意ください。

6-7 楽天から消費者に送信されるメール

楽天ペイ(オンライン決済)V2 において、楽天から消費者に送信されるメールの送信タイミングを以下に示します。

送信タイミング	メール内容
決済完了時(都度決済)	注文確認メール
申込完了時(随時決済)	申込確認メール
注文取消時	キャンセル受付メール
金額変更時 (部分売上、部分取消、与信変更(金額変更))	金額変更受付メール

表 6-7 楽天からの消費者宛てメールの送信タイミング

6-8 検索(Search)に関する補足(詳細コマンドタイプ/詳細オーダー決済状態/承諾状態)

管理サーバーでは、楽天ペイ(オンライン決済)V2 のシステム内部データとして詳細コマンド(処理要求の種類)と詳細な決済状態(その取引がどのような状態にあるか)を管理しています。

通常の運用では、店舗様システムではこれらの内部情報を利用する必要はありませんが、店舗様システムにおいて取引の状態検索が必要なケースや、障害等のお問い合わせ時の参照情報として、これらの内部データを Search コマンドで公開しています。

下表に Search コマンドにて利用可能な内部データの一覧を示します。

詳細コマンドタイプ		詳細オーダー決済状態	
論理名	値	論理名	値
決済認可	PreAuth	決済申込	Init
与信	Auth	与信	Auth
取消(与信)	VoidAuth	取消(与信)	VoidAuth
売上	PostAuth	売上	PostAuth
返金	RefundPostAuth	売上	PostAuth
取消	VoidPostAuth	取消	VoidPostAuth
与信売上	AuthCapture	与信売上	AuthCapture
返金(与信売上)	RefundAuthCapture	与信売上	AuthCapture
取消(与信売上)	VoidAuthCapture	取消(与信売上)	VoidAuthCapture
承諾	Consent	承諾	Consent

承諾状態	
論理名	値
承諾認可	Init
承諾	Consent

注) 一覧に記載していないコマンドタイプと状態も存在します。

第7章 導入・テストに関する補足

7-1 API Key の取得方法

楽天 Pay をご利用になる際に、マスタ登録に必要な API Key 情報を楽天様ご提供管理画面 (Dashboard)

<https://dashboard.online.checkout.rakuten.co.jp>

より、ログインし、「アカウント管理」メニューより取得してください。

なお、「API Key 更新ボタン」を押下した場合、古い API Key が使えなくなりますのでご注意ください。

7-2 決済申込時のエラーをシミュレートする

決済サーバーに接続し、テストを実施するための各種手続き・手順の詳細につきましては、『導入テストガイド』を参照してください。

弊社では、楽天ペイ(オンライン決済)V2 のテストのための疑似環境を提供しています。

Authorize コマンドの結果として返されたレスポンスコンテンツをブラウザに返戻すると、疑似環境に自動的に遷移します。

7.2.1 都度決済

お支払内容の確認

ご注文金額 100

利用ポイント:

当画面では決済結果(成功/中断/失敗)を下記から選択して下さい。

決済結果選択

- 成功
- 中断
- 失敗 (ポイント不正) ※
- 失敗 (決済失敗)
- 失敗 (メンテナンス中)

※「失敗 (ポイント不正)」を選択した場合、GW処理によって当画面にリダイレクトされます。
決済方法などを変更することにより取引が成功する可能性がある場合、本番でも楽天ペイ画面にリダイレクトされます。
「失敗 (ポイント不正)」はそれを疑似的にテストするためのものです。

サンプル画面

図 7-2-1 疑似環境 (ダミー楽天ページ)

決済結果選択	結果
成功	F001(成功)
中断	FED1(保留)
失敗(ポイント不正)	FG11(失敗)※
失敗(決済失敗)	FG24(失敗)
失敗(メンテナンス中)	FG90(失敗)

※再度疑似環境の「お支払内容の確認」画面にリダイレクトされる

この画面で「決済結果選択」を行い、「この内容で注文する」ボタンをクリックすると、決済完了時 URL(successUrl)、失敗・中断時は決済エラー時 URL(errorUrl)へ遷移します。

ただし、一部選択によっては、再度疑似環境の「お支払内容の確認」画面にリダイレクトされます。(※本番では決済方法などを選択することにより取引が成功する可能性がある。それを擬似的にテストするため)

7.2.2 随時決済

申込内容の確認

当画面では申込結果(成功/中断/失敗)を下記から選択して下さい。

申込結果選択

成功
 中断
 失敗 (承諾期限超過)

図 7-2-2 疑似環境 (ダミー楽天ページ)

決済結果選択	結果
成功	F001(成功)
中断	FED1(保留)
失敗(承諾期限超過)	FG26(失敗)

この画面で「決済結果選択」を行い、「この内容で注文する」ボタンをクリックすると、決済完了時 URL(successUrl)、失敗・中断時は決済エラー時 URL(errorUrl)へ遷移します。

7-3 コマンドのエラーをシミュレートする

要求金額(“amount”)の下一桁の値を調整することで、意図的にエラーを発生させることができます。

要求金額の下一桁と、返戻される vResultCode の対応表を以下に記載します。

要求金額の 下1桁	Authorize (都度)	Cancel	Capture		UpdateAuthorize			ReAuthorize (随時)		
			(売上)	(部分売上)	(与信延長)	(金額変更)	(与信延長 + 金額変更)			
0	F001(成功)	F001(成功)	F001(成功)	F001(成功)	F001(成功)	F001(成功)	F001(成功)	F001(成功)		
1	FG90(失敗)	FED1(保留)		FG90(失敗)	FG90(失敗)	F001(成功)	FG90(失敗)	F001(成功)		
2	FG24(失敗)	FG90(失敗)	FED1(保留)	FED1(保留)	F001(成功)	FED2(保留)	FED2(保留)	F001(成功)		
3	FG30(失敗)	FG30(失敗)			FED2(保留)	F001(成功)		F001(成功)	F001(成功)	
4	F001(成功)	F001(成功)	F001(成功)	F001(成功)	F001(成功)	F001(成功)	F001(成功)	FED1(保留)		
5				FED1(保留)	FED2(保留)		FED2(保留)	FG30(失敗)		
6				FG30(失敗)	FG30(失敗)		FG30(失敗)	FG90(失敗)		
7				FG26(失敗)	F001(成功)		FED2(保留)	FED2(保留)	FG24(失敗)	
8				FED1(保留)	FG26(失敗)		F001(成功)	FG26(失敗)	FG29(失敗)	FG24(失敗)
9				F001(成功)	FG30(失敗)			FG30(失敗)		FG29(失敗)

➤ 金額未指定(Authorize 以外)の場合、全額が要求されたものとして動作します。

また、Authorize で随時決済の場合、itemName の値で意図的にエラーを発生させることができます。

itemName	結果
fail	FG90(失敗)
上記以外	F001(成功)

保留となった取引について、一定時間後自動で確認を行い以下の結果に遷移します。

要求金額 の下1桁	結果		
	「お支払内容の確認画面」で「中断」を選択		左記以外
	都度	随時	
0	F001(成功)	F001(成功)	-
1			F001(成功)
2			F001(成功)
3			FG30(失敗)
4			F001(成功)
5			F001(成功)
6	FG30(失敗)	F001(成功)	FG30(失敗)
7	F001(成功)		FG30(失敗)
8			FG30(失敗)
9			F001(成功)

また、Authorize 成功後、一定時間を過ぎてもお支払い画面での結果選択が行われなかった場合、都度決済ではFG26として決済失敗となり、随時決済では F001 として決済成功となります。

- 返戻されるエラーコード(vResultCode)につきましては、今後、予告なしに変更させていただく場合がございます。

7-4 WebView 等を利用したスマートフォンアプリへの実装に関する注意事項

楽天ペイの仕様上、WebView 等を利用したスマートフォンアプリへの実装については動作保証対象外となっております。

※実際にご利用いただいている例もございますので、加盟店様にて十分にテストしていただき、問題ないことをご確認のうえリリースしていただきますようお願いいたします。